



議会だより

かどがわ



建設が進む東九州自動車道〈門川～日向間〉
(東臼杵郡町村議員視察研修)

もくじ

一般会計・特別会計補正予算	……	2
総括意見・常任委員会報告	………	3
一般質問	……………	5
条例・選任同意	……………	10
委員会政務調査報告・請願・陳情・意見書	………	11

平成18年8月
NO. 107

一般会計・特別会計および水道会計の すべての補正を全会一致で可決

6月定例議会
6月8日～6月28日

一 般 会 計	54億5,255万円 (8.3%減)	
特 別 会 計	国民健康保険	21億1,931万円 (10.0%増)
	老 人 保 健	19億3,754万円 (4.8%増)
	介 護 保 険	12億4,588万円 (6.7%増)
	草川区画整理	4,178万円 (130.5%増)
	簡 易 水 道	939万円 (3.0%減)
水道事業会計	3億9,909万円 (22.3%減)	
合 計	112億 557万円	

※ 金額は補正後の総額
() 内は昨年度当初予算との比較

諸報告、承認、同意、条例 報告、陳情、
請願、意見書、決議の30件は1件を除き、
委員会、本会議において、全会一致又は賛成
多数で可決しました。

10名の議員が17問の質問を行いました。



全員協議会のような

主な事業

- ・ デジタル防災無線整備
- ・ 小中学校体育館耐震診断
- ・ 小中学校教室等扇風機および保健室エアコン設置
- ・ 農業農村で生涯現役応援
- ・ 幹部職員の研修

幹部職員研修は

いろいろな受講者が集まるオープン講座を受講。2、3日泊まり込みで異業種の幹部候補社員らと一緒に過ごし、知識を広げ、部下の育成能力など資質の向上を目指す。

総括意見

本会議は、平成17年度ふるさと文化財団事業報告及び収支決算等諸般の報告7件、定数問題委員会長報告3件、平成17年度一般会計補正予算の専決の承認1件、助役等同意案件3件、町議会議員定数等条例案件6件、一般会計・特別会計補正予算3件であります。町長より、総合行政力の向上、職員の資質向上と公平公正な人事システム導入とわかり易い機構改革、災害防止対策、合併問題、高速道路建設推進・環境・消防防災・少子高齢化対策・農林水産業の振興等所信の一端が述べられました。中でも、「地方自治体は国の三位一体改革、地方分権の推進により自治体間の存在をかけた競

争の時代に入っております」との発言は、議会としては重く受けとめたところであります。一般会計補正予算は3億1,855万円を追加し予算額を54億5,255万円とする肉付け予算であります。因に(16年度当初予算は64億3,500万円、17年度は59億4,800万円)。歳入の主なものは、地方特例交付金400万円、国庫支出金528万6千円、県支出金5,868万3千円、繰入金9,564万6千円、繰越金5,000万円、諸収入1,308万5千円、町債9,180万円等であります。歳出の主なものは、農林水産業費に5,238万3千円、道路新設改良事業等

土木費に1億1,413万2千円、デジタル防災無線設置事業等消防費に9,383万5千円、各小中学校に扇風機の設置等教育費に2,398万7千円等であります。全案件が承認・議決されました。議会としては、肉付けされた予算の適正な執行を町長に期待します。

議員は来年度から、2名少なくとも14名になります。私達は、執行をチェックする機関として、その機能アップに向かって最大限の努力をする覚悟であります。

総務財政常任委員会

Q 今回の補正の目玉は

A

デジタル防災無線整備事業費、消防ポンプ自動車と消防小型ポンプの購入費です。デジタル防災無線というのは役場を基地局として海岸線の住宅地や観光地に屋外拡声局を20局整備して、衛星から自動受信してサイレンを鳴らし、緊急通報や行政連絡等を迅速に行うものです。

それから、本部ポンプ自動車約23年経過し、老朽化したので買替えるのと、第3部、10部、12部に小型ポンプを整備します。

Q その他の主な補正は

A

固定資産課税台帳をマイクロフィルムやCD化する事業や、「心の杜」の経営改善策を国土交通省から派遣された地域振興アドバイザーに助言をしてもらう制度の活用等が主なものです。



現在使われている本部ポンプ車



屋外拡声局(イメージ)



かどがわ温泉「心の杜」

文教厚生常任委員会

民生費

Q 障害計画と障害福祉計画の違いは

A 障害計画は、障害者基本法に基づき、町における障害者の状況等を踏まえた障害者のための施策する中長期的な計画です。障害福祉計画は、障害者自立支援法に基づき、障害者福祉サービス等の確保する短期的な計画となっています。

Q 児童手当について詳細説明は

A 対象年齢が6年生までとなり、所得制限も緩和され児童手当をもらえる家庭が増えました。また、申請をしていない家庭はこちらから案内を通知します。

衛生費

Q 町長の施政方針で環境保護を掲げてあるが、環境マップを作ってみたらどうか

A 各関係機関と相談をしながら、水質汚濁ブロイラーの悪臭等についての取り組みをしていき、その中で環境マップも検討したい。

教育費

Q 各学校の扇風機の設置はいつごろになる予定か

A 夏休みの間に設置するのが一番よいのですが、調整中です。

Q

コミュニティ助成事業を使った城屋敷の放送施設の総事業費は？その他の地区での申請の申し込みはあるのか

A 281万1900円でそのうち250万円が助成金となります。以前にも中山地区、平城、上ノ町の前例があり、今後は加草5区でも助成を受けたいとのこと。



城屋敷の公民館

産業建設常任委員会

Q ふるさとの森事業のあとはどうなるのか

A スギやヒノキなど将来伐採する事を目的としてではなく、地球環境を考えたヤマザクラ・ケヤキ・イチイガシなどを植えています。

Q 農林農村生涯現役応援団事業はどんなことをするのか

A 高齢農業者の知識・経験・能力を地域の活性化に生かすため、環境整備などの支援をするものです。

Q 今回の県と地元が1/2ずつの負担で、庵川農産加工所が増設されます。

Q 漁業振興特別対策事業は主にどんな事をしていくのか

A 今回は、門川漁協に冷風乾燥機・魚のすり身製造機を整備する事



上井野地区幸谷の視察に行きました

になっています。予算は県が85%・町が10%の負担になっています。

Q 東九州自動車道の工事の進み具合は？

A 平成22年に供用開始予定で、96%の用地買収が終わっています。

Q 栄ヶ丘公営住宅の2棟目の建設は

A 平成19年度に実施設計、20年度に着工、21年度に完成の計画です。

一般質問

10名の議員が登壇!



町長の政治姿勢は

浜口 惇

町長…充分議論しながら
改革をすすめる

問

町長の政治姿勢について

- ① 議会は自立の道を選んだが、合併を進める町長の見解は。
- ② 職員の意識改革の取り組みは。
- ③ 行政力の向上は。
- ④ 町長報酬の見直しについて。

町長

① 合併について、議会が充分論議されたことは存じている。住民の地区説明会での受けとり方が、合併と関係のないことで、五年十年先のメリットデメリットが理解されていないかと思いきや、各合併市町村の状況を知らず、時間をかけるのは手

で1期目で方向づけができればと思っている。

- ② 職員の意識改革は、管理職の部下の育成と、業務管理とコミュニケーション能力を高めることを目標とし、法令遵守の意識改革を含め研修を行いたい。
- ③ 機構改革は、町民が見てわかる、複数で業務目標を持ち進行管理でき、業績評価できる組織にしていきたい。
- ④ 報酬の見直しは、三役への影響も考え、助役とも相談しながら、行財政改革でも議論し、早い機会に関係機関に諮問したい。

「サテライト宮崎」の門川町進出

水永 正継

町長：地元の意向を尊重したい



問

「サテライト宮崎」は、門川町に、賭博施設である競輪の場外車券売り場を建設しようとしているが、このような会社の進出を広く町民に知らせること及びこの施設が青少年等に与える影響について、町として検討しておくことが大事ではないか。

町長

町長就任後に聞いた。法律上の許可権限、義務は町にはない。青少年健全育成などについても意見交換がなされた上で、区長さんが同意書を出されたということを確認した。町としては、「サテライト宮崎」を視察するとか、説明会で一緒に聞くとかお手伝いをさせてもらっている。あくまで地元の皆さんの意向を尊重しながら、今後は対応していきたい。

問

住宅リフォーム制度の導入については、日向市や日南市等では、住宅リフォーム制度を導入して、市民に喜ばれるとともに市としての経済効果も上が

町長

っているが、門川町でもこの制度を導入する意思はないか。財政事情の厳しい折、優先順位をつけてやっていかなければならないので、今のところリフォームに助成制度を導入する考えはない。

問

教育基本法改定案問題について。教育基本法改定案問題は、子どもたち一人ひとりの「人格の完成」をめざす教育から一転して、国家権力が介入できる教育への転換のように思えるが、現行の教育基本法及び政府与党が進めている改定案をどのように受け止めているか。

教育長

現行法の普遍的な理念は大切にしながら、今日きわめて重要と考えられる理念等について、広い範囲にわたる検討や論議を交わし、国民の支持が得られるものになることを期待している。

今後の町政執行は



安田 修

町長 .. 公明・公正な町政運営 をして行く

問

4月の町長選にあたり、8つの重点政策を揚げ、民間企業で培ってきた感覚や常識、ノウハウを生かし町政を変えて行きたい。と述べられていたが次の三点について伺いたい。
① 地方債の残高の評価は。② 町の組織改革は。③ 門川町を変える理念は。

町長

① 高く評価をしているし、今後

計画的な財政運営に資す為、適切な

地方債の償還条件を選択していく。

② チームとして目標をもつて実績をあげていく様な組織を考えていく。

③ 公明・公正でわかりやすい町政にしていく。

問

農用地の有効利用や、農業経営の改善を促進する為の「集落営農」への支援策は。

町長

積極的に推進しながら、今後補正等で十分支援していく。



公共下水道取組は

黒木 義秋

町長：専門家等をまじえて方向性を見直し検討する



問

この質問は二度目であり前町長も新しい手法があると答弁なされた。本町は山・川・海ありの町です。魚の町門川です。公共下水道の整備は県下でも取り組んでいない町は多くありません。段階的に少しずつ進めて行く考えはないか。

町長

本町は、公共下水道は手付かず、合併浄化槽のみです。全国で79・4%で県で66%で門川では合併浄化槽が37%で公共下水道はなしです。公共下水道と合併浄化槽を進めていくには莫大な建設コストが掛かるので今後はよく見きわめて進めていく。

問

鳴子川周辺海岸を利用した計画はないか。

町長

町長選挙前に座談会で出た町民の声で、私は産業の活性化及び地場産品の売込に貢献出

来ると思うが、既存店との競合共存性など十分な事前検討が必要だと思えます。海を埋め立てるとなると漁業者などとの困難な問題があると聞いています。それをクリアーしないと実現しないと思いません。又、夢・人・町づくりにつながると思いません。

問

出て行くもののムダを徹底的に見直し職員採用も定年退職数に抑えて削減を図って行く町長自ら報酬見直しを公約とされているように行革は最重要課題と思えます。

町長

出て行くもののムダを見直し、行政行革構想の中に職員実数を十年で10%18名減、二十五年まで160名にするとあります。私もそれにそつて進めて行きます。人数とか時期については五年間で計画を立てる。報酬審議会を設立して人件費削減を進めていきます。



五十鈴川の洪水対策は

安田 茂明

町長：今後堤防のかさ上げを検討する

問

小園地区の五十鈴川に建設中の東九州高速道の橋脚の影響で、大池、丸口、小松地区の住民は、台風等の大雨による、家屋の浸水が心配されるが、対策として、丸口地区の堤防のかさ上げはできないか。

町長

丸口地区の堤防の用地取得もでき、今後、堤防のかさ上げを行なう計画である。

問

五十鈴川、河口の体積砂利を取り除き、河口を拡幅する事はできないか。

町長

河口を拡幅すると、堤防に波があたる危険性があり、河口の拡幅は問題があるが、今年より2ヶ年で堤防のかさ上げ工を行なう。



東九州自動車道小園橋脚

財源アップに広告事業の導入を



黒木 裕

町長：広告効果と照らして
検討の余地有り

問

財源アップの取組みを聞きたいし、収入増に広告事業を導入してはどうか。

町長

自主財源の基礎である町税の確保、国・県の補助金の有効活用、使用料・手数料・保育料を見直し、適正化を図る。そして企業を誘致することによって、法人及び勤務す

町長

ケーブルテレビの有効活用を図る為に説明を受け、導入の方向で検討されたが諸事情により実現しなかった。今後は更なるケーブルテレビの有効活用が求められるので今年度中には是非試験放送を一度実施したい。

問

る住民からの納税効果を高める。合わせて広告事業については、他の自治体の成功事例を勉強して、広報効果、広告効果を研究の上、検討の方向で進みたい。

ケーブルテレビでの議会中継を。

町長の政治姿勢を問う



小林 芳彦

町長 .. 時代の変化に柔軟に対応できる組織体にしていきたい

問

町長は、これからの門川町の舵取り役を任されたわけだが、今後の考え方や取り組みについて、町長の理念、信念、方針等お伺いします。

町長

①各団体や協議会の年次総会、補正予算などで職員とは十分な話し込みができている状況ではないが、町職員に温かく迎えられ、楽しく仕事をスタートできた。

②国、県の施策に柔軟に対応しながら、日向市や延岡市など近隣の状況を見ながら、町民が勉強や議論する時間を持ち、合併に対する認識を深めていくことが肝要だと考えております。

③職員ひとりひとりに一年間の業務目標を設定させ自身で業績を評価してみる。そして係長、課長がその人の業績を評価し、最終的に私を含めた三役が同じ地位にあるものの順位をつけ調整する。そして結果を本人にきちんとフィードバックするシステムと評価基準が必要であると考えます。また、公平性や意欲向上に繋がるように客観的な評価基準を早急に検討し

ていきます。

問

企業誘致問題は、今後取り組まなくてはならない重要な問題のひとつであると思うが、町長の企業誘致の考え方、企業誘致推進事業の今後含めてお伺いします。

町長

雇用場の創出や自主財源確保の観点から、企業誘致は極めて重要な課題と認識している。今年度は県内外の企業誘致の先進事例の調査、研究、視察研修を実施する予定だが、まずは企業の用地確保など誘致環境整備から取り組みながら進めてまいりたいと考えています。

児童クラブの今後は

平田 真文

町長：断っていた児童を2学期までには入会の方向で



問

町内の児童クラブは五十鈴小地区で行われているクラブ以外は、場所的に狭く、晴れの日でも外に出られない中央公民館などもある。今年、入会を希望したが、入会できなかった児童が12名もいた。今後この12名を受け入れるということはできないか。また、来年はどのように対処するのか。

町長

本年度、門川児童クラブでは三年生9名を、草川児童クラブでは三年生2名、二年生1名の受け入れができていませんが、福祉課とともに、教育総務と

社会教育課もこの問題解決に入るように指示しました。

希望者全員を受け入れられない理由は色々聞いていますが、それを承知の上で更に福祉課長には、二学期の始まるまでにはまずこの9名と3名の児童を必ず解決するようにと指示をしました。今年度内に問題解消され来年の4月には新しい受け入れ整備ができるよう取り組みたいと思います。





金婚式の再開を

米良 昭平

町長：今後、調査・検討する

問

町主催による金婚式を再開する考えはないか。

町長

高齡化社会を迎えている中、皆さんの生き甲斐、楽しみになり、住みたくなる町の一步前進になる、とのお説は理解するが、
①中止になった理由。
②平成13年から昨年までに金婚式を迎えられた人達のこと。
③区長を始め町民の方々の意見を聞くなどして、検討したい。



町内の企業振興対策を充実せよ

内山田 善信

町長：制度の見直し等を図る

問



企業誘致を図る一方、町内で育った企業がその成長に伴い、町外へ移転せざるを得ないと言う相反する状況が起こり、現在数社の移転が決定している。企業の流出を防ぐために、環境整備や用地の確保など、行政として企業に支援すべきではないか。

町長

景気の回復にともない、有効求人倍率も上昇してきました。雇用の場の創出という意味でも、町内の企業には町内で頑張ってもらいたいと考えています。

①工業用地確保と企業環境整備のため、市街化区域に適当な土地がない場合は、市街化区域以外も含め用地確保を検討していきます。
②工場等設置奨励条例等の優遇措置を受けやすくするため、適用工場の必要条件の緩和を考えたい。

条例制定

選任同意

町議会の議員定数が変わります。

●定数問題等調査特別委員会で調査検討を行った結果、2名削減して16名から14名にする。

賛成多数可決

●国民保護協議会条例の制定について

賛成多数可決

●国民保護対策本部及び門川町緊急対処事態対策本部条例の制定について

賛成多数可決

消防団員の一部の退職報奨金が2千円上がります。

●消防団員に係る退職報奨金の支給に関する条例の一部を改正する条例

全員賛成可決

●町税条例の一部を改正する条例

全員賛成可決

国税から地方税へ3兆円を税源移譲することになり、税源移譲により住民税は増えますが、所得税が減りますので納税者の負担は変わりません。しかし65才以上の特別控除及び定率減税は廃止されます。

18才未満の重度障害児の保険診療費は、一律千円の負担になります。

●重度心身障害者（児）医療費助成に関する条例の一部を改正する条例について

全員賛成可決

●国民健康保険税条例の一部を改正する条例について

賛成多数可決

〔助役〕

村上 昭夫 氏

※東栄町 (昭和29年生)

〔監査委員〕 (識見者委員)

黒木 元吉 氏

※南町 (昭和18年生)

〔固定資産評価審査委員〕

吉塚 陽太郎 氏

※下納屋 (昭和17年生)

〔新議員〕

空席になっていました一議席に4月16日の補欠選挙で水永正継氏が当選されて16名の定数を満たすこととなりました。尚、総務財政常任委員会に属します。

海田町を見てきました 広報編集委員会

海田町議会広報委員会の活動状況

広島市の東隣に位置する人口約3万人の町、合併問題では、平成16年8月に住民投票を行い、単独8000票、合併4000票の結果を尊重して、現在は自立の道を歩いている。議員の定数は16名、3常任委員会のほかに議会運営委員さらに議会改革委員会を始めとして、5特別委員会がある。本会議は9時から17時まで行い、定例議会も3日以内で終わることが多いと聞きました。

議会だよりは、現在64号が発行され、近年は連続して全国町村議会広報コンクールに入選している。

編集委員長は副議長で3常任委員長と経験者2名を加えた6名体制、魅力ある議会だよりを作るには、議員一人ひとりの自己改革への努力が望まれる。

参考になることが多いとあり、勉強になる調査でありました。



所管事務調査 文教厚生常任委員会

放課後児童クラブについて、入所希望の申し込みが多く、教室のスペースに限りがあるため、入所できない児童がいる状況を踏まえ、5月26日に、町内の3児童クラブの現状調査を実施しました。

現状として、門川小児童クラブは定員37名に対し48名の申し込みがあり、草川小児童クラブは定員27名に対して32名の申し込み、五十鈴小児童クラブは定員30名に対し、同数の申し込みがあり、2児童クラブについては、定員以上の児童は入所できない現状でありました。

3児童クラブを調査して、小学生、特に低学年の健全な育成と子供たちが安全・安心して過ごせる児童クラブが尚一層の進展することを期待するとともに、教室・グラウンドの確保等に官民一体となつて取り組む必要があると委員会の意見であります。



請願

○「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願について
(賛成少数不採択)

○日本と同等の安全対策のない、アメリカ産牛肉の輸入再開に反対する請願について
(全員賛成採択)

陳情

○「多重債務を未然に防止し消費者保護を図るための意見書」提出を求める陳情書について
(賛成多数採択)

○上井野地区小切畑の幸谷を結ぶ橋梁の架設についての陳情
(全員賛成採択)

意見書

○違法伐採問題への対応強化を求める意見書
(全員賛成・原案可決)

○日本と同等の安全対策が実施されない限り、アメリカ産牛肉の輸入再開をしないことを求める意見書
(全員賛成・原案可決)

○多重債務防止と消費者保護を図るための意見書
(賛成多数・原案可決)



子ども達を待つ海浜公園プール



子安観音の大エノキ (庵川)



五十鈴川橋完成予想図



かどがわ納涼花火大会(今年は8月26日(土)に開催)

議会を傍聴しませんか？

傍聴はどなたでもできます。

6月議会では、延べ45名の町民の皆様が傍聴に来てくださいました。

ありがとうございます。

皆様の傍聴を心よりお待ちしております。

お問い合わせは議会事務局まで
TEL 03-11140 (内線271)

暑中お見舞い申し上げます



編集後記

議員改革特別委員のある町を見てきました。私達は、多に反省し、気持ちを新たに頑張ります。
米良昭平

町民のみなさん暑い日が続いていますが、水分補給・食のバランスを考え、夏を乗り切りましょう。
小林芳彦

盛夏。猛暑の中、大いに汗をかき、その後のリフレッシュは夕涼みで風情を楽しむ。
黒木裕

いよいよ夏本番、今年も暑い夏になりそうです。熱中症、夏バテ健康には十分気を付けたいものです。
内山田善信